



大町市
創業支援協議会
生涯現役環境づくり部会

「生涯現役」活躍環境の整備による地方創生

～信濃大町生涯現役・セカンドライフ充実プロジェクト～

— 2022/12/21生涯現役地域づくり環境整備事業 情報交換会@東京SEED PLANNING —



2022/10/26 大町合同庁舎 5Fより臨む北アルプス

大町市創業支援協議会 生涯現役環境づくり部会
事業統括員 小林 敏文 (コバヤシトシミ)
Add: 〒398-0002 長野県大町市大町 3206-14
Tel: 0261-85-4755
Fax: 0261-85-4756
e-Mail: info@omachi-geneki.org

1

大町市の紹介

1-1 地理的・社会的環境

・長野県北西部に位置し(東京から約200km、名古屋から 約180km)、市の西部には標高3,000メートル級の北アルプスが聳え、信濃川水系の源流域となっている。



・北アルプスを源とする清冽な河川や、仁科三湖と称される青木湖、中綱湖、木崎湖の高瀬ダム、七倉ダム、大町ダムがあり、豊かな水資源に恵まれた地域となっている。

・人口は26,237人(令和4年3月末現在)の小規模都市であり、令和3年には大町市全域を対象に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の対象地域となった。



1-2 産業・経済

・北アルプスに抱かれた「山岳観光都市」

－黒部ダムや立山黒部アルペンルートに代表される、大自然を活かした観光産業は、
270万人/年を超える観光客が訪れ、また、地域の観光宿泊拠点となる大町温泉
郷内には、約3,000人の収容を可能とする宿泊施設がある。

長期化するコロナ禍の影響は大きく、アフターコロナを見据えた事業再興に向けて
は労働力の確保が重要なポイントとなる。



・豊富な水資源を活かした製造業

－かつてはアルミニウム工場と紡績工場を核とした企業城下町だった
が、近年は水資源を活用した食品製造業等の進出が多くなっている。



・近隣地域を包括する介護・福祉

－大北地域(5市町村)の南北中央に位置し、最多人口・最多面積を有する大町市には 福祉・介護の関連企業・団体が大小約60の事業所があり、域内のみならず大北地域(近隣地域)全体の介護・福祉事業を牽引している。

2 地域づくり環境整備事業の 必要性・応募動機

2-1 地域課題

・県下19市中、8年連続最高の高齢化率による生産年齢人口比率の低下

－地域人口、及び人口構成比推計では、高齢化率以上に生産年齢人口比率が低下傾向にあり地域経済を支える労働力の確保が急務となる状況下にある。

・大町市人口、及び人口構成比推計

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口	26,060	24,675	23,430	22,221	21,058
高齢者人口率	37.7%	38.0%	38.1%	38.4%	38.9%
生産年齢人口率	52.2%	51.3%	50.2%	49.0%	47.7%
少年人口率	10.1%	10.6%	11.7%	12.6%	13.4%

2021年(令和3年) : 38.3%と加速



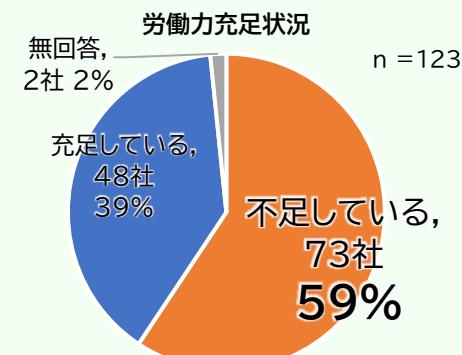
・「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」対象地域

－長期人口減少率、高年齢者比率等の要件への該当地域として、令和3年より大町市全地域が対象となった。

地域内企業・団体を対象とした労働力に関する調査では、長引くコロナ禍ではありながら調査対象の約60%の企業・団体が「労働者不足」を回答している。

・市内企業・団体における「労働力」に関するアンケート調査

- ◆実施期間 令和2年4月～令和3年1月
- ◆調査対象 商工会議所会員企業・団体より業種別按分比により調査対象を抽出
- ◆調査方法 郵送アンケート調査、Webアンケート調査、訪問聞き取り調査
- ◆回答率 123/303 約41%
- ◆調査整合性 市内総事業所の約8%相当 (123/1,600事業所)



2-2 「生涯現役」事業活動の経過

平成31年1月

大町市生涯現役促進地域連携協議会設立

「高年齢者の経験と技術を活用した就業機会の開拓とマッチング」
～信濃大町セカンドライフ検討プロジェクト～



2019/5/8 信濃毎日新聞

大町に「生涯現役相談センター」 滝野高木子久地域 領内初開設
大町市生涯現役相談センターは、滝野高木子久地域の領内初開設となる。高齢者や、障がい者など、誰もが安心して利用できる施設を目指す。運営は、大町市生涯現役促進地域連携協議会(会長=牛越市長)が行なう。同協議会は、高齢者の経験と技術を活用した就業機会の開拓とマッチングなどを目的とする。高齢者を中心とした年齢層にかかわりなく働くことができる生涯現役社会づくりを目的とする草生労働省の「生涯現役促進地域連携事業」で、県内初のモデル地域として実施する。



大糸タイムス

2019年5月8日(水)付

令和元年 5月

生涯現役促進地域連携事業(地域連携コース)受託

大町市生涯現役相談センター(同、協議会事務所)開所

令和3年 9月

生涯現役促進地域連携事業(地域協働コース)事業構想策定

「地域まるごとみんなでつくる生涯現役Project」構想

11月

生涯現役促進地域連携事業の令和4年度以降「廃止」連絡

12月

「生涯現役活動継続検討会」立ち上げ

急遽、3年前倒し持続化計画策定・実施

令和4年 2月

生涯現役地域づくり環境整備事業、企画構想策定

「生涯現役」活躍環境整備による地方創生構想

4月

「大町市生涯現役促進地域連携協議会」専任職員3名移籍

大町市商工観光部商工労政課、兼)創業支援協議会へ移籍
生涯現役促進事業活動継続、地域づくり環境整備事業エントリー準備

5月

生涯現役地域づくり環境整備事業、企画競争応募

7月

大町市生涯現役促進地域連携協議会“解散”総会

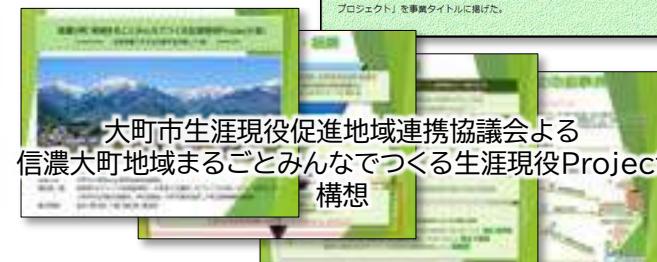
大町市創業支援協議会「生涯現役環境づくり部会」総会

8月

大町市創業支援協議会

生涯現役環境づくり部会事業活動開始

令和4年度第1回運営委員会開催



改訂構想計画
Revised Plan



大町市
生涯現役促進
地域連携協議会

大町市

大町市
創業支援協議会
生涯現役環境づくり部会

令和元年5月～令和4年7月

令和4年8月～

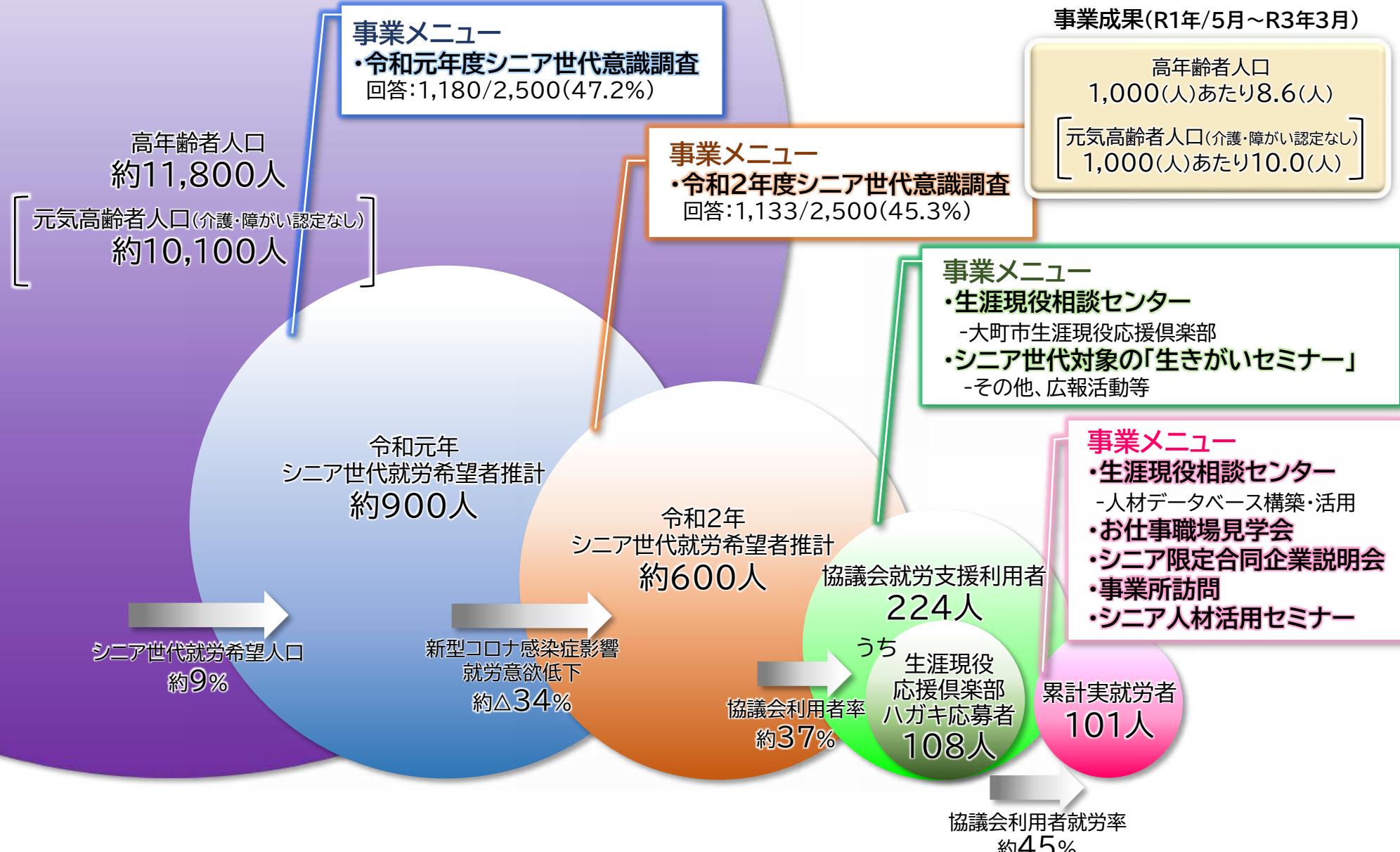
2-3-1 「生涯現役促進地域連携事業(連携推進コース)」の実績

令和1年～3年度 実就労者



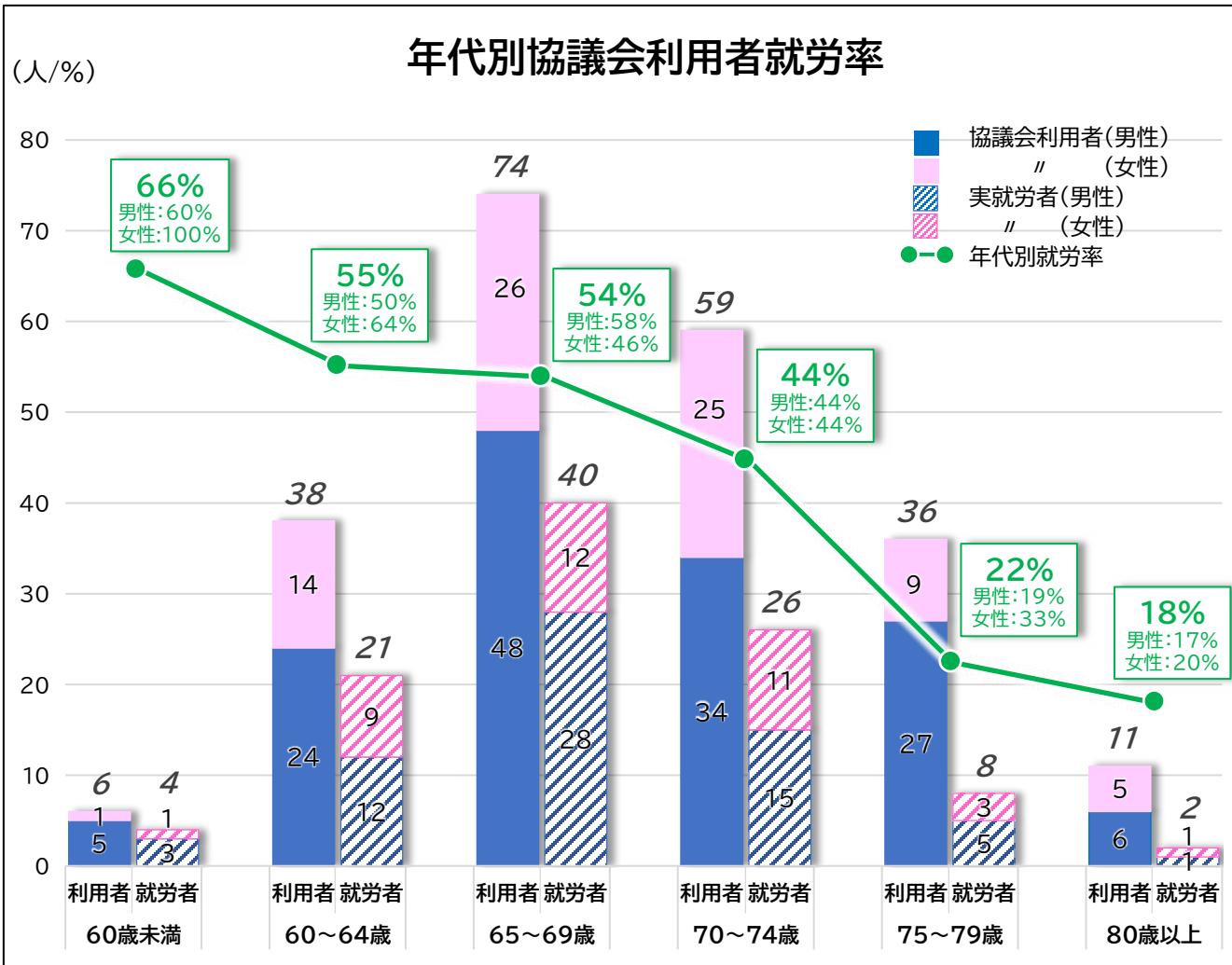
2-3-2 「生涯現役促進地域連携事業(連携推進コース)」の実績

※Note: R4年3月31日現在

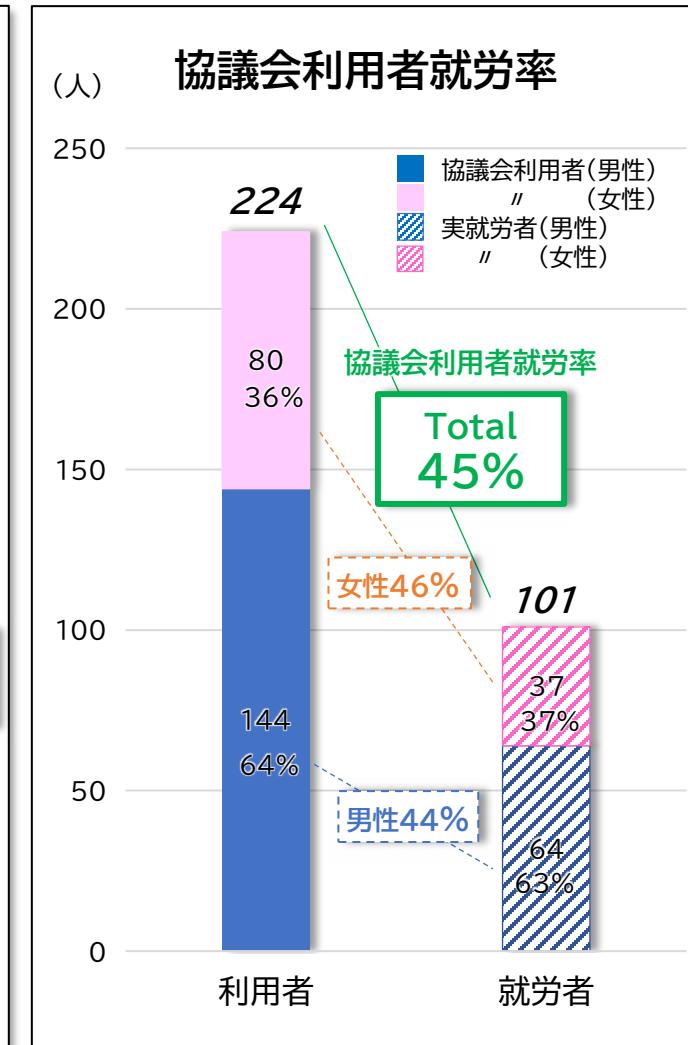


2-3-3 年代別シニア世代就労促進実績

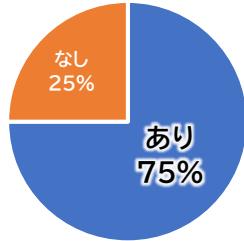
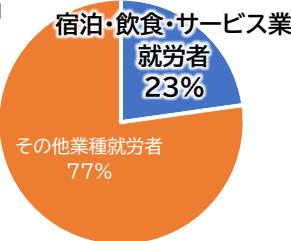
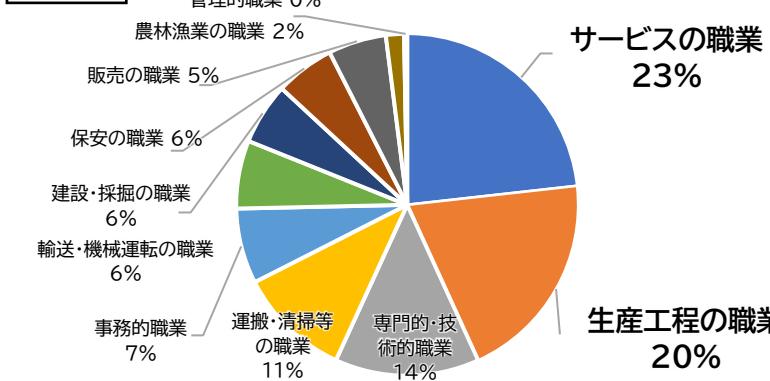
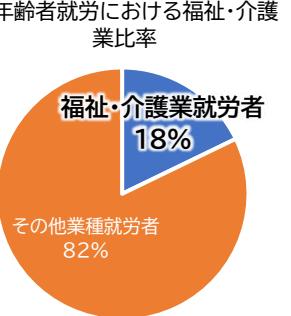
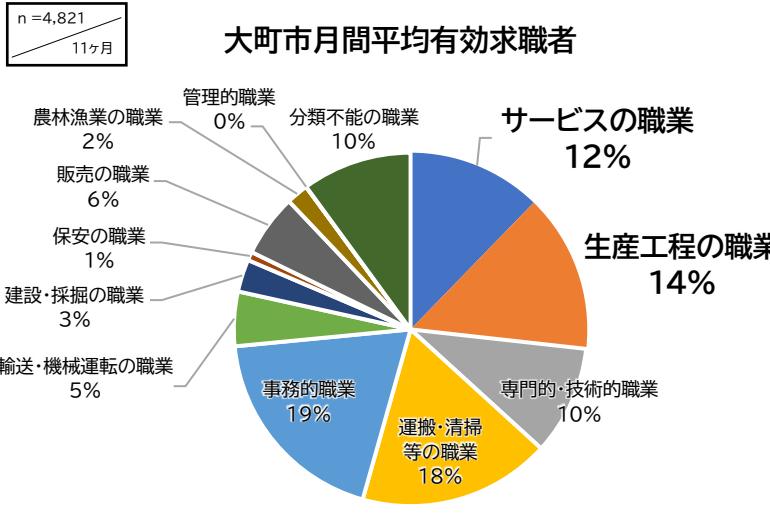
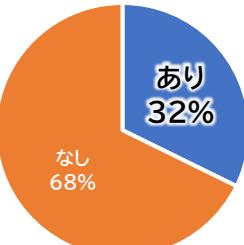
※Note: R4年3月31日現在



※Note: R4年3月31日現在



2-4 シニア世代の社会参加による効果の可能性

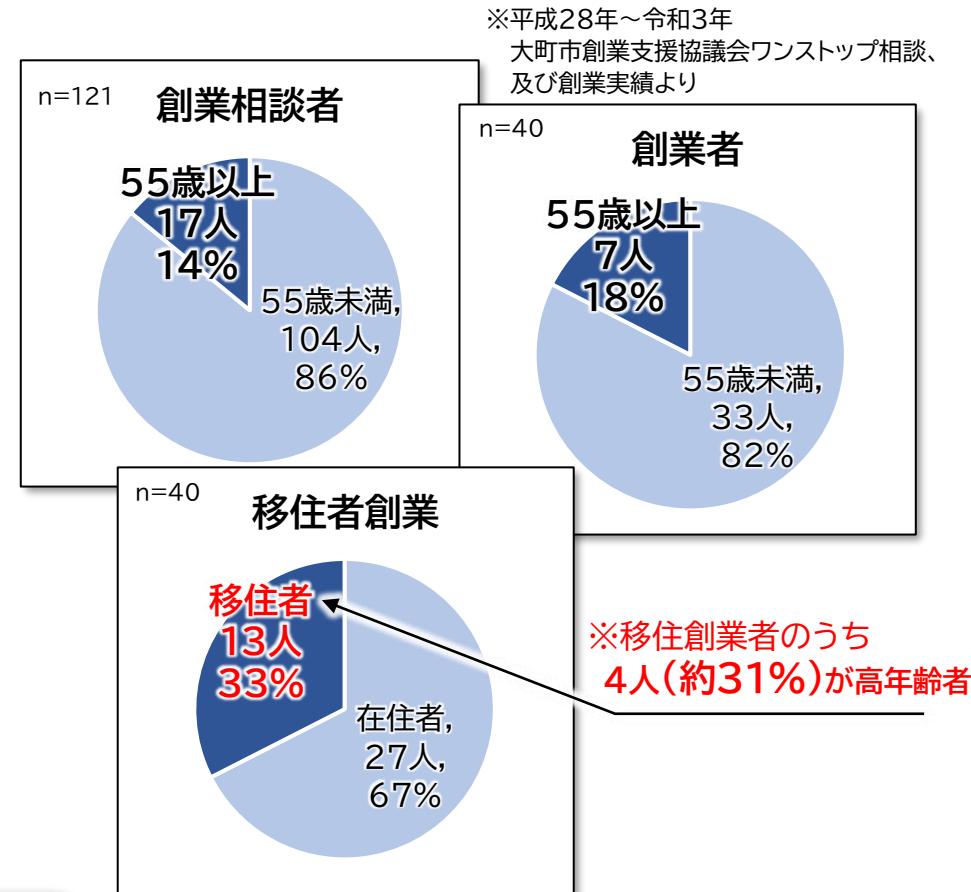
	雇用の可能性		雇用動向 ※ ハローワーク大町提供 大町市求人・求職者情報(R3/4～R4/2)
	企業・団体 ※自治体主導の市内企業・団体を対象とした「労働力に関するアンケート調査」結果参考	市内高齢者 ※生涯現役地域連携活動における高齢者就労実績参考	
宿泊・観光業	宿泊・飲食・サービス業における高年齢者雇用の意向 n = 20 	高年齢者就労における宿泊・飲食・サービス業比率 n = 101 	大町市月間平均有効求人(就業地) n = 7,190 / 11ヶ月 
介護・福祉業	介護・福祉業における高年齢者雇用の意向 n = 29 	高年齢者就労における福祉・介護業比率 n = 101 	大町市月間平均有効求職者 n = 4,821 / 11ヶ月 
製造業	製造業における高年齢者雇用の意向 n = 31 	高年齢者就労における製造業比率 n = 101 	

3 地域づくり環境整備事業への創意工夫

3-1 創業支援活動視点での生涯現役事業

■大町市創業支援協議会

- 平成27年10月に経済産業省及び総務省より経済産業競争強化法第113条第1項の規定に基づき認定され、その計画実行を担い、地域や中心市街地の活性化等、地方創生を目的として平成28年2月に設立された。
- 昨年度まで活動していた大町市生涯現役促進地域連携協議会の協力により、高年齢移住者による地域内創業比率は31%（簡易宿泊所・生花店・飲食店・リラクゼーション施設）を占める状況となっている。
- 従来からの創業支援活動はもとより、大町市過疎地域持続的発展計画や厚生労働省・長野労働局・長野県が進める「長野県への移住と就職の一体的サポート」活動とリンクした「移住・定住促進」「住民福祉の向上」「雇用機会の拡充」等の課題を高年齢者による社会貢献の視点で包括的地域づくりを牽引する団体への機能拡充を目指した。



生涯現役地域づくり環境整備事業への企画応募を決定

3-2 事業の趣旨・目的・手段

趣旨

「人生100年時代」を先取りした地域環境づくり

- ・2040年、高年齢化率38.9%の地域人口ビジョンをポジティブに考えた政策を実行する。
- ・「新たな日常」に向けた産業競争力に貢献できる「シニア・パワーの活躍の場」を創造する。
- ・高齢化社会対応型の地域づくりを実践するリーディング・シティー(おおまちモデル)を目指す。

目的・目標

既存の地域づくり活動に貢献する生涯現役活動の仕組みを構築する

- ・市内企業・団体における労働力不足解消に向けての求人活動支援及びボランティア活動支援
- ・移住、定住者(希望者含む)の就労支援による地域づくり活動の活性化
- ・高年齢者の経験・知識を活かした起業・創業促進による高年齢者就労の創出
- ・生涯学習活動促進による高年齢者の就業意欲向上、能力啓発支援

生涯現役風土、地域文化の醸成・継続に向けた資金調達の仕組みを構築する

- ・自治体、公共団体における活動人材の役務提供、及び予算確保
- ・民間からの活動支援制度の確立

手段・方法

厚生労働省「生涯現役地域づくり環境整備事業」制度の活用（企画競争参加）

- ・既存の「地域づくり活動団体」をプラットフォームとした横断的な生涯現役推進活動が可能
- ・高年齢者世代における就労(雇用契約)、起業・創業、有償無償ボランティア等の包括的事業アプローチが可能
- ・「事業活動の維持・継続・自走」をコンセプトとし3年度間の委託事業制度

大町市創業支援協議会に **生涯現役地域づくり環境整備機能** を付加する。

3-3-1 支援対象の支援の「継続」「発展」

継続

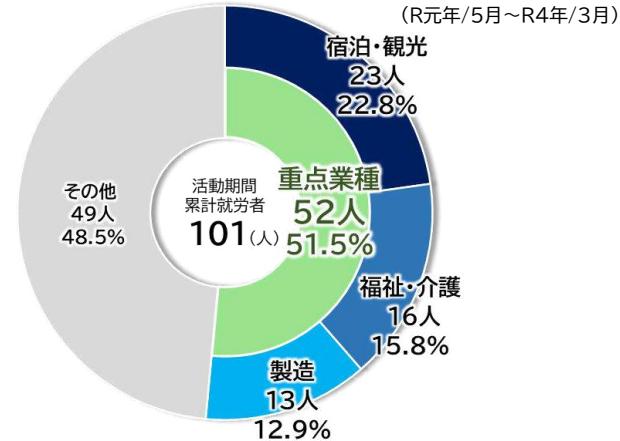
◇ 地域産業状況と生涯現役事業実績から重点業種を継続

- ・地域の産業構造、及び生涯現役促進地域連携事業におけるニーズ調査結果や就労による社会参加・貢献実績より、重点業種は

・「宿泊・観光業」「介護・福祉業」「製造業」

を継続する。

生涯現役事業における実就労実績



発展

◇ 多様な生涯現役の“活躍の場”を考慮した支援内容の追加

対象業種	高齢者 活躍手段 シニア世代	地域づくり活躍貢献手段			
		一般契約就業 (短時間労働・期間就業含む)	シルバー人材就労	ボランティア就労	創業起業
重点業種	宿泊・観光業	◎	○	△	△
	介護・福祉業	◎	○	◎	○
	製造業	◎	○	△	△
	その他	○	◎	○	○

・シニア世代の一般契約就労に加えて

- ・「シルバー人材就労」
- ・「無償・有償ボランティア就労」
- ・「起業・創業」

を付加した支援 内容とし、
地域づくりに貢献する活動とする。

3-3-2 支援施策の「継続」「進化」

継続

◇ 実績ある「事業メニュー」の継続

1 生涯現役環境状況調査

。。。地域づくり活動とリンクした高年齢者就労意識調査

・地域内高年齢者(元気高齢者)に対し、就労意欲、ボランティア活動意欲・起業意欲等、「できる事」「やりたい事」の調査。

2 事業所訪問

。。。高年齢者雇用意識調査及び積極的高年齢者求人開拓

・労働力の充足状況・採用活動の有無に準じた求人支援事業メニューの提案、生涯現役対応型の職場づくりを訴求。

・高齢年齢者雇用実績の紹介による活動への理解を訴求、寄付への協力を示唆する事業メニューとする。

3 生涯現役相談センター

。。。求人求職者、創業希望者及び専門知識・技能・有資格者等の情報集約拠点

・求人、求職(ボランティア希望含む)、創業相談はもちろん、経験豊富な高年齢求職希望者の専門的知識や有資格情報等をデータベース化し、生涯現役活躍の場とのベストマッチング情報を提供する。

・高年齢者が希望する活躍の場(シルバー人材会員・有無ボランティア・創業・学習)に応じ、応募案内窓口としての機能を備える。

4 シニア限定合同企業説明会

。。。高年齢者就労機会のイベント化

・各プラットフォームからの求人・求職情報や季節(期間)求人のタイミングにより地域のイベントとして高年齢者就労機会を創る。

5 シニア人材活用セミナー

。。。70歳までの就業機会提供に向けた高年齢者雇用推進

・高年齢者雇用の助成制度紹介、ワークシエアリング・業務の切り出し、エイジフレンドリーな職場環境づくり等を訴求する。

・地域企業・団体におけるITリテラシー向上活動と同期し、インターネットセミナーを多用する。

6 生涯現役活躍応援セミナー

。。。高年齢者へ向けた幅広いライフスタイルを提案

・生涯学習や能力啓発(ITリテラシーなど)セミナーを通じ、社会参加・地域貢献への「居場所・出番」を提案する。

7 お仕事職場見学会

。。。就労・採用に関する不安の払拭による高年齢者就労推進

・高年齢者就労における求人者・求職者、互いの「不安」を払拭する「現場・現状」型の職場見学会を通じ、高年齢者就労を推進する。

・事業所訪問調査事業と同期した活動により、高年齢者の実就労に直結する事業として注力する。

・生涯現役促進環境整備事業の35カ月間の活動にて、各事業メニューの地域認知度が向上し、支援イベント開催も恒例化しつつある。

また、協議会利用者就労率:45%、期間内就労者:101人の社会参加実績を実現した7つの 事業メニューを踏襲した事業活動とする。

進化

◇ より効果的な事業内容への進化

- ①生涯現役環境状況調査………65歳までの就労機会提供等、活動環境の大きな変化を背景に前事業同等の精度ある調査を実施する。
- ②事業所訪問……………採用活動の緊急性に応じ、他の事業メニュー(お仕事職場見学会)とリンクしたタイムリーな求人支援活動を実施する。
- ③生涯現役相談センター………コロナ禍において「高年齢者の重篤化」を危惧した社会参加意欲・活動の萎縮を補完する活動を実施する。
- ④シニア限定合同企業説明会…宿泊・観光業における繁忙シーズンの高年齢者労働力への依存率は高く、事業メニュー実施のタイミングを考慮する。
- ⑤シニア人材活用セミナー………コロナ禍を背景に感染状況により、ストリーミング配信型のリモートセミナーを多様化する
- ⑥生涯現役活躍応援セミナー…より就労決定率の高い生涯現役相談センターへの誘導を目的とする。
- ⑦お仕事職場見学会……………就労決定率が高い実績より、管理目標を「参加者の満足率」から「就労決定人数」に変更する。

3-3-3 支援体制の「継続」「強化」

継続

◇ 地域で創る活動を目指した「安心・信頼」関係の継続



- 利用者の利便性を考慮し、相談センターの所在地(住所)変更はしない。
- 安心・信頼の維持・継続を意識し、専任職員(相談員・事業所訪問担当)を変更せず、次期担当者の育成に努める。
- 活動情報、求人・求職者データベースを保管するネットワーク・サーバ・システムの管理・構成・ハードウェアは継続使用とし、情報管理 (Personal Information Manage) リスクを回避する。

強化

◇32ヶ月間で永続体制を整える実行体制

◆ 部会機能 ◆



- 部会事務局機能は、「**地域づくり活動の同期化**」「**プラットフォーム体制構築**」「**永続への仕組みづくり**」に注力する。
- 事業メニューの実行は、同様の目的を持つ
各構成団体(プラットフォーム機能)主体で実施する。

4 「永続」を目指した事業構想

4-1 地域が創る「生涯現役環境づくり」体制構造

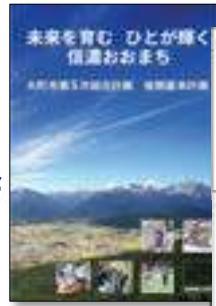
大町市第5次総合計画 後期基本方針 令和4(2022)年度～8(2026)年度

大町市総合計画審議会
大町市議会

既存の公共的
「地域づくり」活動団体

地域企業・団体

市民(シニア世代)



◎ 創業希望者・創業
者の育成

- 創業支援協議会の創設やセミナーの開催による、市内外の住民やリターン者等の創業希望者の取り組みの育成
- 人材育成を図るため、商業をはじめとする広範な分野の新規創業の積極的な支援
- 起業・創業に対する助成制度の確立と支援体制の整備

◎ 働く場や機会の充
実

- コロナ禍における労働・雇用情勢の把握と状況に応じた施策の検討・実施
- 関係機関と連携したテレワークの推進による多様な労働環境の整備
- 生涯現役促進地域連携事業によるシニア世代の就業機会の創出と労働力の確保

商工労政課

自治体政策
(Top down policy)

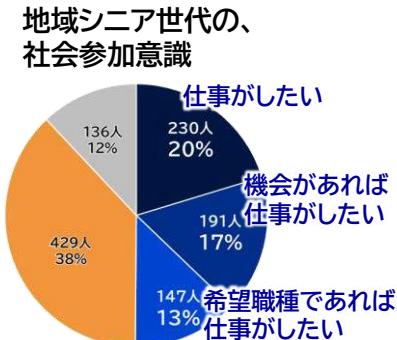
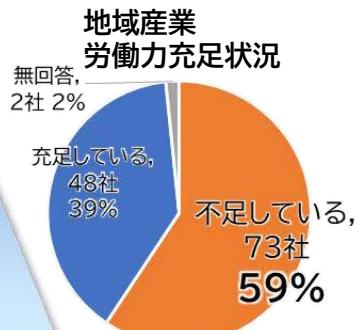
- ・大町市
- ・長野県長寿社会開発センター大北支部
- ・北アルプス広域シルバー人材センター
- ・大町商工会議所
- ・大町市創業支援協議会
- ・大町社会福祉協議会
- ・大町市観光協会
- ・大町温泉郷観光協会
- ・大町金融団

構成団体
協働活動

大町市創業支援協議会
生涯現役環境づくり部会

Mission

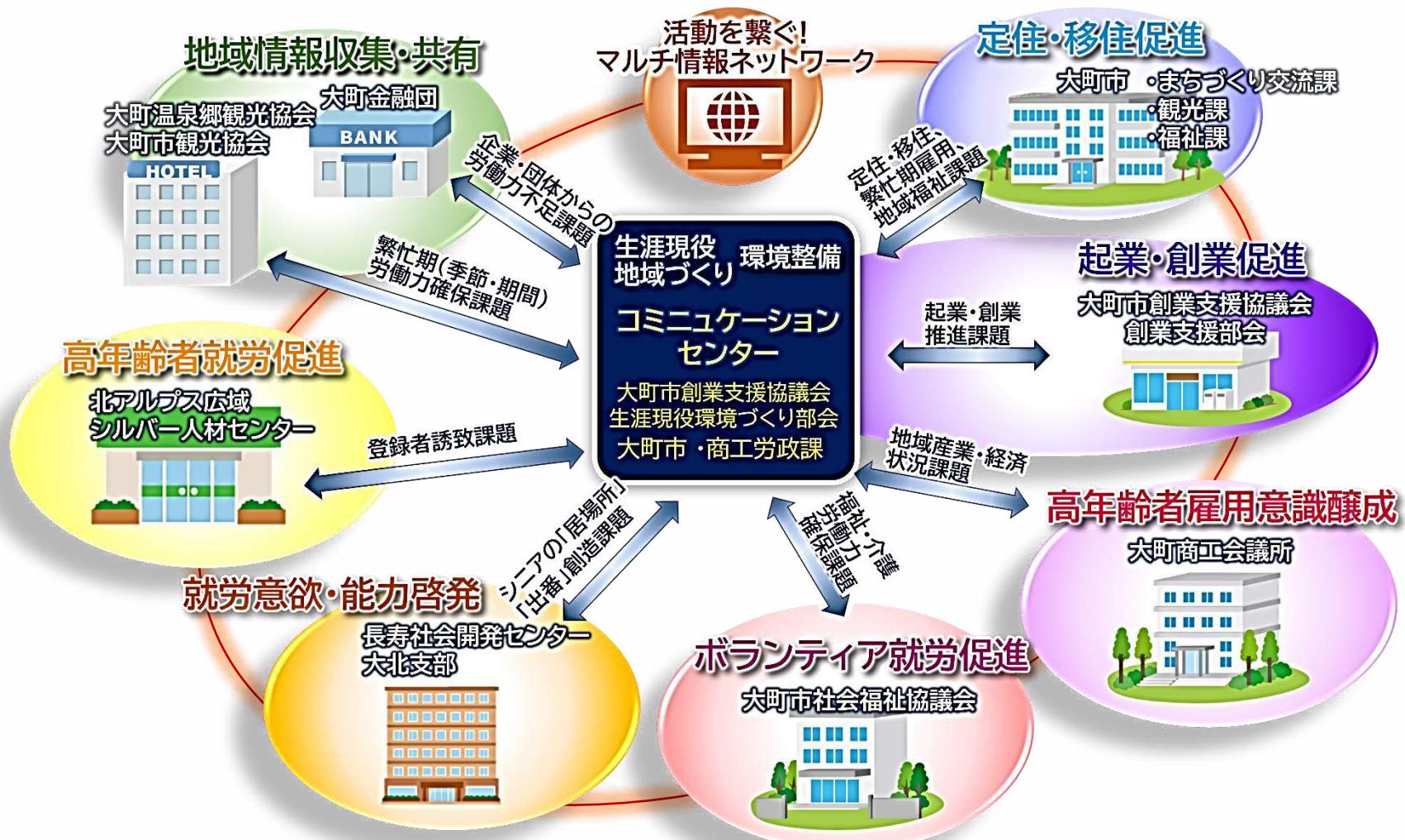
「生涯現役」「シニアの活躍」を共有の
キーワードとした地域づくり活動を通じ、
地域の生涯現役環境を整える！



地域要求
(Bottom up request)

4-2 「プラットフォーム機能」体制のフレームワーク

多様な分野で「地域づくり」を牽引する既存の公共的事業活動団体で構成



4-3 「プラットフォーム機能」体制のフレームワーク

自治体、関連団体	「地域づくり」期待相乗効果	生涯現役地域づくり環境整備 事業メニュー						
		環境 状況 調査	事業所 訪問	相談 センター	合同企業 説明会	シニア人材 活用 セミナー	活躍 応援 セミナー	お仕事 職場 見学会
大町市	<ul style="list-style-type: none"> ・大町市過疎地域持続的発展計画への貢献 定住・移住・地域間交流・福祉充実・人材育成・産業振興 	○	○	○	○	○	○	○
大町商工会議所 創業支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業振興 ・求人支援 ・起業・創業促進 	○	○	○	○	○	○	○
大町温泉郷観光協会 大町市観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期(有期)労働力の確保 	○	○	○	○	○	○	○
北アルプス広域 シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者向け業務開拓 ・短時間労働希望者(会員)誘致 	○	○	○	○	○	○	-
長野県 長寿社会開発センター 大北支部	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学(生涯学習)事業活性化 ・「人生二毛作」活動 “居場所・出番”の提供 	○	-	○	○	○	○	-
大町市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力確保による地域福祉の充実 ・ボランティア就労促進 	○	-	○	○	○	○	○
大町市金融団	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力相談(不足・補充・採用)への情報提供 	-	-	○	○	-	-	○

4-4 公共的事業活動団体による「プラットフォーム機能」体制の優位性

- ① 地域自治体との協力・協調関係がある 第5次総合計画に共に取り組む
- ② 安定的な団体の存続 解散・廃業等、情勢変動に強い
- ③ 「地域づくり」活動での経験・ネットワークがある 事業メニューの拡大に期待
- ④ 各分野での「多様な活躍の場」の創造に期待できる 「活躍の場」の拡大
- ⑤ 各分野で既存の「地域づくり」活動予算を確保している 安定した活動資金
- ⑥ 各分野で既存の「地域づくり」活動人材を保有している 「知ってる」「出来る」人材育成が可能

6

委託期間終了後の取り組み

6-1 「永続」に向けた取り組み I

事務局(専任職員)機能のみを自治体(大町市)に移管

プラットフォーム機能による事業実行継続に向けて「知ってる人」「出来る人」の育成

◇目標:

- ・事務局が無くても自立活動実行が出来るプラットフォーム機能

◇実行施策:

- ・各プラットフォーム機能が帰属する団体の「地域づくり目標」に密接に関係する事業メニューの実施に際しては、各構成団体(運営委員)を中心としたOJT型開催を実践する。

■ R4年度 OJT進捗状況(令和5年度計画を前倒し実行) ■

事業メニュー	実施日	Main	Sub
① 生涯現役環境状況調査	10/26	事務局	大町市
② 事業所訪問	8/19～	事務局	—
③ 相談センター	8/1～	事務局	—
④ シニア限定合同企業説明会	12/13	事務局	大町市
⑤ シニア人材活用セミナー	12/13	事務局	—
⑥ 生涯現役活躍応援セミナー	10/26、11/4	長寿社会開発 社会福祉協議会	事務局
⑦ お仕事職場見学会	10/18、/24		事務局

6-2 「永続」に向けた取り組み II

事務局機能のエコシステム化(安く・軽く)

◇目標:

- ・現状事務局業務の1/3 (3人⇒1人)

◇実行施策

・事業実行に付帯する業務は可能な限り“自前”で実施し、「いつでも使える(再使用)・アレンジ(編集)できる」状態で保管・管理するサーバシステム(管理PC)をセットアップ運用する。

－サーバシステムの大町市移管を考慮し、システム管理PCは大町市からの貸与とする。

－大町市役所にて使用されているWindows OSでの組み込み設計とする。

－現環境づくり部会事務所のインターネット内で運用とし、OS アップデート時以外は外部接続を遮断する。

・プラットフォーム機能(構成団体)間の活動を“繋ぐ”マルチコミュニケーションネットワークを構築する。

－現ホームページの継続運用を前提としたコミュニケーションツールとする。(別途、新規開発は不可)

－閲覧者限定のパスワードが設定できる仕組みとする。

・事務局機能を簡素化するデータ管理システム(求人・求職者データ・事業進捗・KPI進捗・月度報告書フォーム等)を作成・運用する。

－MS office をベースに作成し、容易な変更・編集が可能なツールとする。



■ R4年度 エコシステム進捗 ■

・ホームページ	完了
・データ管理サーバ	完了
・ホームページをインフラとした、情報共有ネットワーク	試験運用 デバッグ中
・データ管理システム	マクロ設計 完了